



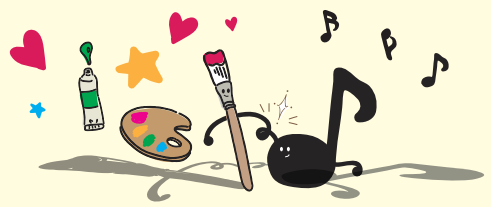
西区を豊かに

2022年
9月4日発行
第39号

発行者 新潟市西区自治協議会 会長 大谷 一男
事務局 〒950-2097新潟市西区寺尾東3丁目14番41号 西区地域課内
TEL: 025-264-7161 FAX: 025-269-1650
メール: chiiki.w@city.niigata.lg.jp

西区の宝物をたくさん詰め込んだロゴマークです。新潟すいか、赤塚大根、くろさき茶豆、佐潟の白鳥。その上に日本海に沈む夕日と大学を表す博士帽をのせました。

ことしで10回を迎えます！ 西区アートフェスティバル



アートフェス開催への思い

「アートの表現を通して、西区民の一体感をつくりたい。西区で表現活動に取り組んでいる団体などに発表の場を提供し、幅広く区民に知ってもらいたい。学術・文化豊かな西区のパワーを発信したい」こんな思いから、自治協議会委員で声があがり、平成25年から開催しています。ことしで第10回を迎えるアートフェスは、アートで「西区を豊かに」することを目的に、区民や区内の学生がそれぞれの形で表現してきました。

ことしのテーマは **西区のアートてんこもりっ！**

ことしのアートフェスは、「西区のアートてんこもりっ！」をテーマに、「音楽・芸能部門」を3年ぶりに有観客で開催する準備を進めています。ぜひ、お楽しみください。

開催日 11月5日(土)、6日(日) **会場** 黒崎市民会館

詳細は西区役所だより10月2日号でご案内します。

新型コロナウイルス感染状況により、変更または中止する場合があります。



第1回
音楽が大好きな子どもたちや伝統芸能を引き継いでいる団体、公民館利用団体が出演しました。



第2回
第2回からダンス団体も出演。音だけでなく、「動き」も加わりました。



第3回
令和3年度で活動を終了した笠木樽砦の演奏がありました。



第4回
第4回から「アート展示部門」を創設。区民や大学生の作品が会場を彩りました。

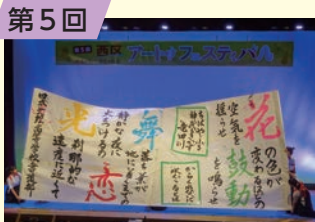


ことしは有観客！
みんなおいでよ！

令和4年 -第10回-

アートフェス10年間の歩み

平成25年 -第1回-



第5回
日本文理高校書道部がパフォーマンス。また、「アート展示部門」では、区内小学生の自由研究優秀作品を展示しました。



第6回
特別ゲストとして、「西区かがやき大使」で、西区出身元タカラジェンヌの越乃リュウさんが歌でエンディングを飾りました。



第7回
新潟大学と共催で実施。学生が企画・運営した「音届」では、乳幼児から小学生までの親子を対象にコンサートを行いました。



第8回
コロナ禍でも家庭で楽しんでいただけるよう、音楽部門をオンラインで開催。アートを届けるため、運営や出演者が試行錯誤をしながら実施しました。



第9回
「音楽・芸能部門」は中止でしたが、新潟大学生が音楽と光の演出「おん×てっく」を開催し、アートフェスを盛り上げました。

ことしの自治協 こんな活動をしています

区自治協議会では、3つの部会に分かれて地域課題の解決に取り組んでいます。今年度の活動内容について紹介します。

第1部会 一住環境・自然環境— 一緒に環境美化活動しませんか？

ごみのないきれいな西区を目指すため、環境美化活動に取り組む個人や、パートナー団体を募集しています。詳しくは区ホームページ(右の二次元コード)をご確認ください。



のぼり旗が
できました

応募いただいたパートナー団体を紹介します(8月29日時点)

有限会社アルプスオート、黒崎商工会青年部、下山田自治会、立仏校区ふれあい協議会、一般財団法人信越郵便局長協会西蒲北部会、新潟西海岸リゾート計画協議会、株式会社スウェーデンハウス新潟営業所、黒崎南ふれあい協議会



第2部会 一健康・福祉— 西区でできる支え合いを考えます

支え合いに関する実態調査として、アンケートを実施します。また、さまざまな立場の人に集ってもらい、「西区でできる支え合い」についてワークショップを開催し、実現可能な取り組みを検討します。



アンケートにご協力ください

区民の皆さまが考える「支え合い」のイメージや実態について、お尋ねします。約10分程度のアンケートです。気軽にお答えください。

回答期限 9月30日(金)

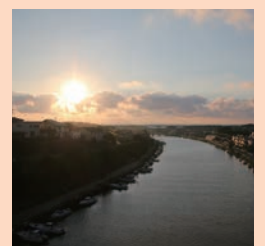
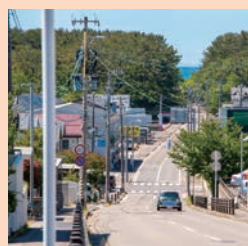
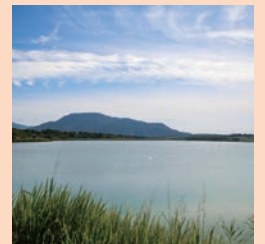


第3部会 一区の魅力発信— 西区八景で魅力発信します

「西区八景」として、西区の魅力ある景色を発信するために、情報収集しています。



魅力ある景色を収集しています





創立150周年を迎える 西区内の小学校 思い出いっぱい！

パート 1

大野小学校、新通小学校、笠木小学校は次号以降に掲載予定です

明治5年(1872年)の学制頒布により、西区内では、明治5年に赤塚小学校、大野小学校が、翌6年には、新通小学校、内野小学校、笠木小学校が開校しました。今号では、赤塚小学校と内野小学校の歴史と卒業生の思い出を紹介します。

白鳥とともに

赤塚小学校

明治5年11月13日、赤塚村で開校した小学校。当時は大慈寺の禅堂を借館して開校。学区は、赤塚村、松野尾村、松山新田村、新保新田、大原新田村、藤蔵新田、山崎村古新田、丸山新田村、北山新田村、木戸新田村、四ツ郷屋村、角田浜村、越前浜村でした。

赤塚といえば佐潟。創立100周年の昭和47年には、佐潟に飛来する白鳥をイメージした「白鳥の像」が完成し、赤塚小学校の象徴の一つとなりました。また、校門から続く桜並木は、昔の校舎の時から児童を温かく見守っています。



昭和28年頃 当時の木造校舎と桜の木



昭和47年 白鳥の像が完成

参考：新潟市立学校沿革略誌 写真提供：赤塚小学校

桜とともに 内野小学校

明治6年1月17日、内野村で開校した小学校。開校当時、政府は設立や維持するための資金を地元住民の負担としたため、資金調達が困難な地域では、私設の塾や寺子屋の建物をそのまま使用していました。内野小学校でも校舎はなく、教具や器具のない民家を借りての出発となりました。

内野小学校といえば桜。この桜は昭和16年に児童、保護者、地域住民の手で植えられたものです。当時は砂地でしたが、同じころ植えられたポプラの木と共に育ちました。

今回、内野小学校では創立150周年記念事業として、児童、保護者、地域住民と共に桜の植樹をしています。約80年育ってきた桜と若い桜が融合した新しい桜の名所になるでしょう。地元住民や卒業生などの思いを引き継ぎながら未来に向けて動いています。(取材：山岸則子)



昭和30年代 グラウンドから見た木造校舎



昭和47年 シルバータワーを設置
(老朽化により令和3年度に撤去)



記念事業で咲いた若い桜

写真提供：内野小学校

赤塚小学校卒業生の思い出話

- 白鳥の像がある庭でよく遊びました。友達が白鳥の像に登って先生に怒られるのを笑って見ていたことがいい思い出です。40代男性
- 冬になると佐潟に来る白鳥を見ながら登校していました。40代女性
- 創立100周年時に卒業しました。当時建てられた白鳥の像が今でも残っていて、150周年を迎えて感無量です。60代男性
- 佐潟などを走るマラソン大会はいい思い出。おばあちゃんからの声援がとても記憶に残っています。40代男性

内野小学校卒業生の思い出話

- 桜とサッカーで有名な小学校でした。60代女性
- サッカーが盛んで雑誌に取り上げられました。60代男性
- シルバータワーが老朽化により昨年撤去に。歳をとったと感じました。50代男性
- 食糧難で、校庭には食糧用の畑がありました。80代男性
- 飼育小屋にクジャクとタヌキがいてびっくりしました。30代男性

知っく なっく 街のタネ

芝桜でココロが明るくなる道に

広通川左岸の遊歩道沿い約100mに植えられた芝桜、通称「西が丘芝桜ストリート」。元々、雑草やごみの投棄などで人が近寄らない状況でしたが、2020年から「内野西が丘自治会」と「内野西が丘緑を育てる会」が中心となって芝桜の植栽を始めました。今ではウォーキングや散歩などの地域住民の憩いの場となっています。どのような思いで取り組んでいるか、内野西が丘緑を育てる会の池田忠さんからお話を伺いました。



内野西が丘
緑を育てる会
池田 忠さん

「西が丘といえば、芝桜！」といわれるまちへ

せっかくの遊歩道を気持ち良く、きれいに使いたいという思いから、有志で定期的に草刈りをしていましたが、重労働で継続していくことは難しいと考えていました。そこで、自治会の皆さまのご協力を得ながら子どもから高齢者まで幅広くお声がけし、楽しく環境美化に取り組むために、芝桜の植栽を始めました。植栽では、一生懸命苗を植える皆さんの笑顔が見られ、コロナ禍の中で久々の明るいひとときでした。今では地域の愛着につながる道になっていると感じます。

この「西が丘芝桜ストリート」の植栽・維持管理を通じて、住民同士の交流が深まり、防犯活動や清掃活動、除雪作業などの地域活動もうまくいくようになりました。このような活動は継続することが大事だと思います。無理せず楽しみながら活動していきたいと思います。



昨年の植栽の様子

とっておきの私の一枚

タイトル
日本海の夕日

投稿者
志賀信正 さん

一言コメント

浜辺に白鳥が映り、何か良いことがありそうです。



浜辺に映る夕日の光が鳥のようでとてもきれいです



広報紙や自治協議会活動についてのご意見を募集しています

住所・氏名・連絡先をお書き添えの上、広報紙表面の「事務局」あてに郵送または電子メールにて送付ください。

とっておきの私の一枚

あなたの「自慢の写真」(家族・風景・イベント・ペットなど)に住所、氏名(氏名必須、ペンネームがあればペンネーム掲載)、連絡先、写真タイトル、一言コメントを添えてご応募ください(電子メール可)。

◆採用者には千円の図書カードを贈呈。◆応募写真は返却しません。

◆締め切り10月末日(12月18日号掲載予定)。◆送付先／広報紙表面の「事務局」あて



パソコン・スマートフォンでもご覧になれます！
Web版「西区を豊かに」